

## ご挨拶

理事長 吉川 敏一



長年、東京におかれていた本部ですが、2018年に、創設者のおひとりである湯川秀樹博士の「社団法人生命科学振興会」の書とともに京都の地に帰ってまいりました。

設立当初より、掲げている三つの理念は、科学技術の進歩が人類の生存を脅かすという危機感に基づいています。人類だけでなく地球上のすべての生物とそれを取り巻く環境をも含んだ健康 "One Health" という考えもそのひとつです。その理念に則り、時代の変化に伴い、本会は、活動を続けてまいりました。

現代社会は、iPS 細胞などによる再生医療、人工頭脳を利用した生活、バーチャル画像による空想社会、ロボットとの共同生活など、複雑かつ多様化しています。2015年の国連総会において採択された持続可能な開発目標 (SDGs) に掲げられているように、よりよい未来に向け、さらにまい進してまいります。多くの方々に本会にご参加いただき、輪が広がっていきますことを願っています。

## 設立の趣旨

本会は松岡英宗、湯川秀樹、武見太郎、佐藤栄作の4氏によって、昭和48年4月26日に社団法人として内閣総理府の認可を得て創立されました。その後、平成24年に公益社団法人として認定されました。

生命科学 (ライフサイエンス) を人間が人間らしく生き生きと創造的に他のあらゆる生命と共に生かされ生きていく理法と秩序づくりととらえ、生命現象を直接対象とする自然科学に偏りすぎず、社会科学、人文科学をも含めた総合的な視点から探求し、事業を行ってまいります。

## 事業目的

本会は、生命科学に関する学術的調査研究などを行うことにより生命科学の振興を図り、もって国民生活の向上及び健全な社会の発展に寄与することを目的としています。

(公益社団法人生命科学振興会定款より)

## 事業概要

本会では、21世紀の人間と社会と暮らしを見据えながら、事業の趣旨と目的を達成するために、以下列挙する活動を企画、運営しています。

1. 生命科学に関する研究・調査
2. 生命科学に関する情報の収集及び提供
3. 生命科学に関し顕著な功績のあった者の表彰
4. 生命科学に関する外国機関との連絡
5. その他本会の目的を達成するために必要な事業

(公益社団法人生命科学振興会定款より)

## 主な事業

### 1 ライフサイエンスの研究会・セミナーの開催

本会が掲げる理念に基づき、研究会では、広く学識経験者、産業界、公的機関等の参画を求め、社会一般に向けてその成果を提供します。現代社会が抱える全地球的規模の自然・環境、医療と健康・保険、地域社会、家庭等の問題、さらには人生の処し方に至るまでをテーマとし、それらを広い視点でとらえ、研究発表や主張・提案を行います。

定期的にセミナーを開催し、ライフサイエンスにまつわる様々な問題について検討し、併せて本会員の意見発表や懇談の場を提供します。

### 2 季刊誌『ライフサイエンス』の発行

ライフサイエンスに関する情報の提供を行うとともに、会員を中心とした研究の発表や提言、意見交換を中心として展開していきます。編集にあたっては、単一の主義や主張に偏ることなく、広く様々な意見や研究成果を求め、グローバルな視点で、自然=人間=科学を考えていくためのメディアとして機能するよう留意しています。また、一般会員個々の率直な意見に光をあて、より多くの会員の方に参加いただく意味から、会員の方の投稿・寄稿文を優先掲載しています。

### 3 隔月誌『医と食』の発行

「人も国も食の上に立つ」といわれるように食は生命の基本です。健康長寿の高齢化社会にあって、医と食の最前線の情報を届けていきます。

### 4 各支部による活動

「人間・社会・自然の調和のために」という言葉が実感できるよう各地に支部 (北海道・東京・関西・九州支部) を置いています。地域に根ざしたイベントを開催していきます。

## 年会費

正 会 員 一 口 ¥5,000      法 人 会 員 一 口 ¥30,000  
学 生 会 員 一 口 ¥2,000      特 別 法 人 会 員 一 口 ¥150,000  
特 別 正 会 員 一 口 ¥10,000

※季刊誌『ライフサイエンス』を全会員に送付しています。

※特別正会員、法人会員、特別法人会員へは、隔月誌『医と食』も送付しています。

## 申込方法

別紙の入会申込用紙に必要な事項をご記入のうえ、本部にお送りいただくと同時に、口座へ会費をお納めください。ホームページからもオンライン登録が可能です。1口以上、何口でも結構です。

ホームページ: <http://www.lifescience.or.jp>

会費振込先: 郵便振替口座 00160-0-76320